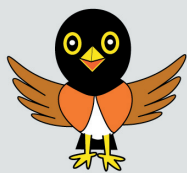


こっこめ通信 07 2003

「暗闇に怪しく光る」号



八丈島ではアカコッコの事を親しみを込めて
「こっこめ」とよびます。

今年の梅雨はしっかりと雨が降り、ジメジメとした日が続いています。この梅雨らしい天候を一番喜んだのは、キノコたちかもしれません。昨年はアカウミガメの産卵がありましたが、今年は残念ながら上陸はないかもしれません。また、ツクツクホウシも鳴き始めが遅いようで、6月中には鳴き声が聞かれませんでした。

これから梅雨明けと共に島の夏も本番！ビジターセンターでも色々なプログラムが予定されています。ぜひ参加してみてください。

さて、今月はブックコーナーに設置した鳥・虫のアルバムと、光る生きもののお話です。

「八丈鳥譜」と「八丈虫譜」

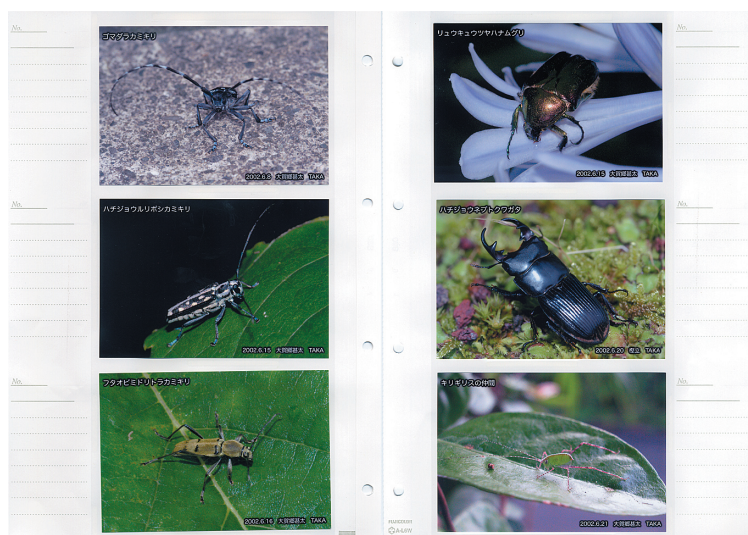


ビジターセンター内のブックコーナーには、島のダイビング関係者で集めた写真を元に作った「八丈島産魚類図鑑」や、島に住んでいる石川 豊寿さんの作成した「八丈島の自然 シダ編」・「草本編」・「木本編」・「八丈島園芸植物図鑑」、また葛西 重雄さん・石井 正徳さん・ビジターセンター解説員の菊池の三氏が作成した「八丈島羊歯植物写真集」・「八丈島蘭科植物写真集」など、島の自然を調べる資料が閲覧できるようになっています。

そこで今回、解説員が島で撮影した写真を元に「八丈鳥譜」として鳥を「八丈虫譜」として虫の写真集を新たに付け加えました。

詳しい解説は載せずに、写真に名前(分からないものもたくさんあります)と日付、観察場所を付け加え、島にもいろいろな鳥や虫がいることを知ってもらい、フィールドに探しに行ってもらえたらと思っています。

6月現在で鳥が44種類(73枚)、虫が56種類(75枚)集まっています。これからさらに数は増えると思いますので、ぜひ見に来てください



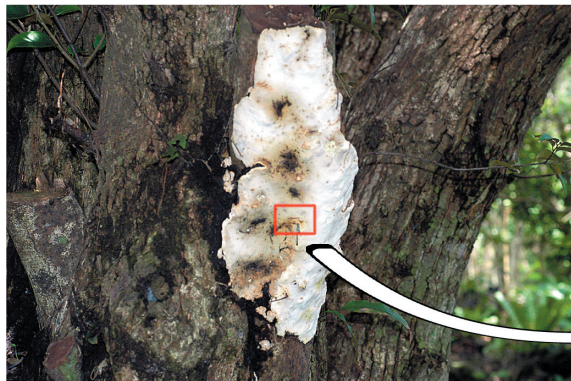
「アカコッコ」とは日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物にも指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

八丈島の光る生きものたち

みなさんが「光る生きもの」といって一番最初に思い出すのは、ホタルでしょうか？

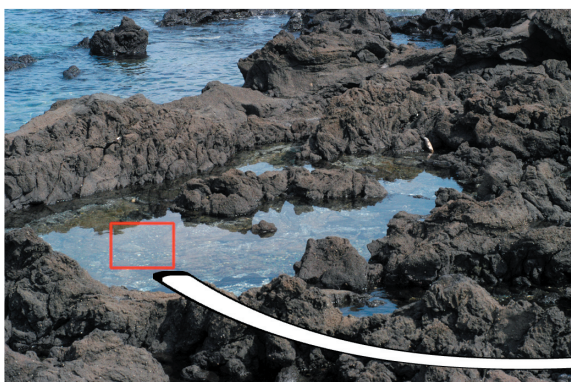
八丈島にもホタルはいますが放虫したもので、自然分布ではありません。ヤコウタケなどの発光キノコも有名ですが、このほかに弱い発光ですが光る生きものがいます。それが下の2つの生き物です。島に来たら探してみてください。

ニッポンヒラタキノコバエ



古いスタジイについている「シイサルノコシカケ」というサルノコシカケの仲間に「ニッポンヒラタキノコバエ」の幼虫はついてます。この幼虫は25mmほどの大きさで、このキノコの胞子を食べています。真っ暗闇でないと発光は確認できないほどですが、幼虫とさなぎの体全体が光るようです。

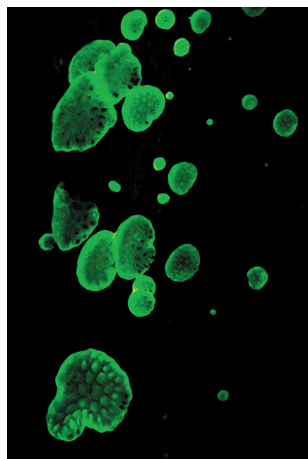
ヨコスジタマキビモドキ



殻の高さ約8mm位の小さな貝で、海岸の浅瀬や潮だまりに棲んでいます。八丈島の洞輪沢で初めて発光することが確認されましたが、殻の内側にある外套膜が発光するため、自然の状態で確認するのは難しいです。

発光キノコたち

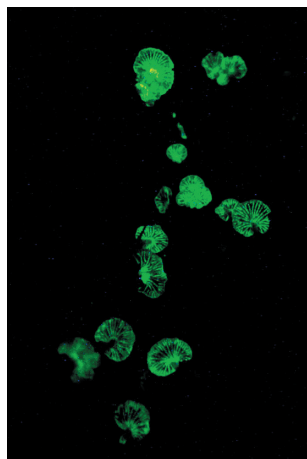
八丈島には、「ヤコウタケ」、「シイノトモシビダケ」、「エナシラッシタケ」と3種類の光るキノコがあります。しかし、このほかにも4種類ほど発光するキノコが確認されています。そのうちはっきりと名前が付くかもしれませんね。



「エナシラッシタケ」



「シイノトモシビダケ」



「(通称) ギンガタケ」



「ヤコウタケ」

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は 6 月 8 日に観察会を行いました。下の表が調査記録です。

八丈植物公園季節調査（平成 15 年第 6 回）

平成 15 年 6 月 8 日（日） 13 時 30 分～15 時

参加者・吉田、菊池、鶴沢、青柳、伊藤、永井、菊池、青柳、古謝、V.C. 菊池

NO.	和 名	状 態	NO.	和 名	状 態	NO.	和 名	状 態
草 本						木 本		
1	ヤナギタデ	花	38	シロバナマンテマ	実	1	ガクアジサイ	花
2	ツメクサ	花と実	39	シロバナセンダングサ	花と実	2	アカメガシワ	花
3	コケミズ	実	40	イヌタデ	花	3	ハチジョウキブシ	実
4	カタバミ	花と実	41	オオバコ	実	4	ハチジョウイボタ	花、咲き終わり
5	メヒシバ	花	42	ギョウギシバ	花	5	ヤブツバキ	実
6	ヒメコパンソウ	実	43	ヒメジョオン	花、盛り	6	ヤブニッケイ	蕾
7	ハコベ	花	44	マメグンバイナズナ	実	7	イヌビワ	実
8	イワニガナ	花	45	タチスズメノヒエ	花	8	テイカカズラ	花
9	ドクダミ	花	46	セイヨウタンポポ	花と実	9	モッコク	蕾
10	ニワゼキショウ	花と実	47	ノチドメ	実	10	オオムラサキシキブ	蕾
11	オニタビラコ	花	48	ヒメクグ	花	11	ヒメユズリハ	蕾
12	オオアレチノギク	花	49	クサイ	実	シダ植物		
13	ギンギン	実	50	タチチチコグサ	実	1	マツバラン	
14	トキワハゼ	花	51	ハルジオン	花	2	カニクサ	
15	カラスノエンドウ	はじけた実	52	コケリンドウ	花	3	イタチシダ	
16	チガヤ	実	53	キツネノボタン	花と実	4	タチクラマゴケ	
17	ナギナタガヤ	花と実	54	コメツブツメクサ	花と実	5	ハマハナヤスリ	
18	アオカモジグサ	実	55	ヒナギキョウ	花	6	スギナ	
19	カモジグサ	実	56	ヤマカモジグサ	実	7	ウラボ	
20	コマツヨイグサ	花	57	ヨツバムグラ	花と実	8	ミゾシダ	
21	ハハコグサ	花と実	58	ツルマオ	実	9	ノキシノブ	
22	チチコグサ	実	59	ツクサ	花	10	ヒトツバ	
23	ヒエガエリ	花と実	60	ミツバ	花	11	オニヤブソテツ	
24	ヌカススキ	実	61	アカバナリハコベ	花	12	タチシノブ	
25	アオツツラフジ	若い実	62	シマスズメノヒエ	花	13	ホシダ	
26	ヒナギキョウ	花	63	ヤブジラミ	花	今回は植物 98 種を観察しました。		
27	トウバナ	花と実	64	タケダグサ	蕾			
28	ムラサキカタバミ	花	65	ベニバナポロギク	花			
29	オランダミミナグサ	実	66	ヨツバハコベ	花			
30	イヌガラシ	実	67	オニドコロ	花	次回調査は 7 月 13 日（日）です。		
31	タチイヌノフグリ	実	68	セリ	花			
32	ヌカボ	実	69	コナスビ	花			
33	ウスベニニガナ	花	70	シチトウスミレ	閉鎖花			
34	ネジバナ	花	71	ハチジョウテンナンショウ	若い実			
35	オオニワゼキショウ	花と実	72	オムナグサ	花			
36	キランソウ	花	73	マスクサ	実			
37	コモチマンネングサ	花、咲き終わり	74	スズメノヤリ	実			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、植物ではなく昆虫の「ハチジョウルリボシカミキリ」にスポットを当ててみたいと思います。



ハチジョウルリボシカミキリ *Glenea(Glenea) chlorospila hachijonis*

リュウキュウルリボシカミキリの亜種。
トカラ列島や沖縄諸島（座間味島）、神津島を除く伊豆諸島に分布しています。体長は 10mm 前後、体色は黒く、背側には中央に青緑色の線とその外側に斑紋が入ります。成虫は 5 月～7 月にノブドウやタマアジサイなどの葉の上で観察できます。

2003 八丈ビジターセンター 7 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時間は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時間です。
左側が満潮時間、右側が干潮時間です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
 この色の日は 特別行事があります		1 05:03 12:02 19:11	2 05:39 00:19 19:47 12:40	3 06:19 00:57 20:23 13:19	4 07:03 01:40 21:00 14:00	5 ガイドウォーク 07:54 02:30 21:37 14:44
6 ガイドウォーク 08:58 03:30 22:17 15:32	☾ 小暑 7 10:23 04:39 23:00 16:26	8 12:12 05:54 23:48 17:32	9 14:02 07:05 18:51	10 00:41 08:07 15:26 20:13	11 01:38 09:02 16:30 21:23	12 ガイドウォーク 02:33 09:52 17:23 22:19
13 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 03:25 10:39 18:07 23:06	○ 14 04:14 11:23 18:47 23:47	15 05:01 12:05 19:22	16 05:45 00:26 19:54 12:44	17 06:28 01:04 20:21 13:20	18 07:11 01:43 20:47 13:53	19 ガイドウォーク 07:55 02:25 21:13 14:25
20 ガイドウォーク 特別行事 「三原山縦断 トレッキング」 08:46 03:14 21:41 14:58	☾ 21 ガイドウォーク 09:52 04:12 22:15 15:34	22 11:33 05:22 23:00 16:21	大暑 23 13:44 06:35 17:39	24 00:01 07:40 15:15 19:32	25 01:08 08:33 16:07 20:56	26 ガイドウォーク 八文学講座 「八丈島の帰化植物」 特別行事 「夜の昆虫観察会」 02:06 09:18 16:46 21:49
27 ガイドウォーク 特別行事 「昆虫観察会」 02:54 09:58 17:19 22:28	28 03:37 10:36 17:50 23:02	● 29 特別行事 「潮だまり探検隊」 04:17 11:13 18:20 23:35	30 04:58 11:50 18:50	31 05:39 00:10 19:20 12:27		

イベントプログラム

植物公園季節調査会	植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じよう ビジターセンター集合・解散 7/13 (13:30～ 約1時間半) 無料 中学生以上 定員:15名
特別行事 「三原山縦断トレッキング」	恒例の三原山縦断（コースは未定）。ビジターセンター集合・解散 7/20 (9:30～ 約5時間半) 参加費 500円 小学生以上（低学年は保護者） 定員:20名
八文学講座 「八丈島の帰化植物」	7月は、植物公園の中で帰化植物を観察します。ビジターセンター集合・解散 7/26 (13:30～ 約1時間半) 無料 中学生以上 定員:15名
特別行事 「夜の昆虫観察会」	夜の公園で昆虫の観察会をします。講師は、八木下 潤さん。ビジターセンター集合・解散 7/26 (19:30～ 約1時間半) 参加費 100円 小学生以上（低学年は保護者） 定員:20名
特別行事 「昆虫観察会」	昼の公園で昆虫の観察会をします。講師は、八木下 潤さん。ビジターセンター集合・解散 7/27 (13:30～ 約2時間) 無料 小学生以上（低学年は保護者） 定員:20名
特別行事 「潮だまり探検隊」	潮だまりの生き物を採集して、みんなで観察します。現地集合・解散（当日決定） 7/29 (10:00～ 約2時間) 参加費 100円 小学生と保護者 定員:小学生10名+保護者

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち
11:00～ おじゃりやれ 八丈島
14:00～ おじゃりやれ 八丈島
15:00～ おじゃりやれ 八丈島
16:00～ 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2003.7.1 第26号

開館時間 9:00～16:30 年中無休（入場無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話:04996-2-4811 Fax:04996-2-4888

（ホームページでは「こっこめ通信」をカラーで見ることができます）

編集後記

光るキノコの写真は解説員の山下が寝る間を惜しんで撮影した力作です。ぜひホームページのカラーの写真を見ていただきたいです。島でしか味わえない幻想的なキノコたちです。（高）